

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180562020050	科目番号 / Subject code	05620200
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 16071_024		
授業科目名 / Subject	健康・スポーツ科学 / Science of Health and Sports		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 渡邊 勝平 / Watanabe Shiyouhei, 飛奈 美耶子 / Miyako Tobina, 山内 正毅 / Yamauchi Masaki, 田井村 明博 / Akihiro Taimura, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 林田 雅希 / Hayashida Masaki, 小川 さやか, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 渡邊 勝平 / Watanabe Shiyouhei, 飛奈 美耶子 / Miyako Tobina, 山内 正毅 / Yamauchi Masaki, 田井村 明博 / Akihiro Taimura, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 林田 雅希 / Hayashida Masaki, 小川 さやか, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, A健康コンディショニング科目, 健康・スポーツ科学科目, 自由選択科目, 査定外		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]本館12(講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	古林正和: masakazu-f328@nagasaki-u.ac.jp 田井村明博: taimura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	古林正和: 保健医療推進センター 田井村明博: 環境科学部2F(228)		
担当教員TEL / Tel	古林正和: 095-819-2213 田井村明博: 095-819-2761		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	健康や身体運動に関する身体的、生理的特性、またはその社会的側面などについて理解を深め、実生活で役立つ知識の獲得をねらいとする。		
授業到達目標 / Course goals	生活習慣に関連する身体的・精神的疾病の基礎を説明できるようにする。生活習慣と健康、身体運動と健康の関連性を説明できるようにする。個々の生活習慣を振り返り、生活習慣を少しでも改善できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	レポートまたは小テストの合計100%。毎回のテーマに関するレポートを総合して評価する。各週のレポートあるいは小テストは、10点満点で評価し、15回の平均で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	健康、生活習慣病、生涯スポーツ、身体運動		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。 参考書: 学生と健康, (編) 国立大学等保健管理施設協議会, 南江堂		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	田井村明博：運動と健康
第2回	田井村明博：運動と筋肉・エネルギー代謝
第3回	飛奈美耶子：体カトレーニング法 1
第4回	飛奈美耶子：体カトレーニング法 2
第5回	山内正毅：運動学習の心理学
第6回	渡邊勝平：障がい者スポーツ 1
第7回	渡邊勝平：障がい者スポーツ 2
第8回	古林正和：青年期に健康を考える
第9回	古林正和：生活習慣病(1)
第10回	古林正和：生活習慣病(2)
第11回	林田雅希：心の健康(1)
第12回	小川さやか：心の健康(2)
第13回	尾崎幸生：歯と歯ぐきの健康
第14回	大石和代：青年期の性
第15回	古林正和：総括(まとめ)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180566011050	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井田 洋子 / Ida Youko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	井田 洋子 / Ida Youko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	井田 洋子 / Ida Youko		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 11 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育学部 1 年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日授業後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	国の根本規範としての憲法の存在意義ならびに基本原理 (普遍的価値とされる基本的人権の尊重・民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄) を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。		
授業到達目標/Course goals	受講生が、憲法の基本概念を理解すること、主権者としての自覚をもち、憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えるようになること、日本社会だけでなく国際社会の問題に目をむけるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1 つ以上 3 つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	レポート50%、定期試験50%の総合評価。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	立憲主義、民主主義、民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	【テキスト】日本語：大隈義和・大江正昭『憲法学へのいざない第3版』青林書院 英語：特になし 【参考文献】 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握－国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造－立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201805810010E1	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由科目(専門), 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	akaishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	本館632研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	教養ゼミナール終了後30分		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	<p>大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。</p> <p>そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。</p> <p>また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>知的活動への動機づけを高める。</p> <p>科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。</p> <p>レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。</p> <p>学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	初年次セミナーに対する取り組み方・ディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2977 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	・長崎国際観光コンベンション協会外園秀光氏による講義 「長崎市観光の現状と課題」
第2回～第14回	・RESASを用いた分析手法の修得と長崎市観光の課題分析 ・長崎市関係部署へのヒアリングおよび現場での課題の洗い出し ・報告資料の作成 (パワーポイント原稿の作成)
第15回	・長崎市観光コンベンション協会職員を前にした報告会

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201805810010E4	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由科目(専門), 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kfuku@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	東南アジア研究所2階 福澤研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日16~18時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。</p> <p>そのため、知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。</p> <p>また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>知的活動への動機づけを高める。</p> <p>科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。</p> <p>レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。</p> <p>学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	初年次セミナーに対する取り組み方・ディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2980 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 ~ 3 回	オリエンテーションおよび役割分担の決定。
4 ~ 5回	課題図書に関する個別の報告、概要と感想（口頭のみ）。
6 ~ 1 2 回	概要とまとめ（ペーパー化）とペーパーを元にしたディスカッション
13 ~ 14回	パワーポイントによる報告と質疑応答
15回	全体まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201805810010E5	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由科目(専門), 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Target students	経済学部夜間主コース1年生 指定クラス		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymurata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	経済学部本館5F 507室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6343		
担当教員オフィスアワー/Office hours	教養ゼミナール終了後1時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。</p> <p>そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。</p> <p>また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>知的活動への動機づけを高める。</p> <p>科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。</p> <p>レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。</p> <p>学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	初年次セミナーに対する取り組み方・ディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	必要に応じて指示される課題を行って次回の授業に臨んでください。調査研究は班ごとに校外での活動になることが多くあります。		
キーワード / Key word	調査研究		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2981 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	全員で話し合って決めたテーマに関する自主的な調査研究と、その成果発表で、大学生として必要な多くの事柄を学ぶことができます。大変ではありますが、やりがいがあり、実り多い授業ですので、積極的に参加してください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション・自己紹介
第 2 回	図書館の利用方法講習会
第 3 回	研究テーマの検討
第 4 回	研究テーマの検討・班分け・班長選出・研究テーマの調査研究の進め方に関する討議
第 5 回	研究テーマの調査研究の進め方に関する討議・研究計画書の提出
第 6 回	Word の練習
第 7 回	Word の練習・Power Point の練習
第 8 回	Power Point の練習
第 9 回	調査研究
第10回	調査研究
第11回	中間まとめ・発表会
第12回	レポート作成の分担決定・レポート作成
第13回	調査研究
第14回	研究の仕上げ
第15回	最終まとめ・発表会

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180582001050	科目番号 / Subject code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Subject	情報基礎 / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Class type	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館12 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Target students	経済学部総合経済学科夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	経済学部本館6F 631		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義時間前後、および、sigh@nagasaki-u.ac.jpにて受け付けています。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>【授業の概要】 情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)は生活する上での「生きる力」の一つとなっています。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のための道具として不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠となります。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次に身につけることとしています。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得します。授業は、講義と演習を組み合わせ進めます。講義内容を確実に理解するために、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を課します。講義では、主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用します。</p> <p>【授業の位置づけ】 本科目は教養教育における情報科学科目です。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とします。 この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる ・情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる ・インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる ・自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>定期試験 30% コンピュータの動作原理、情報を扱う上で必要となる倫理観等が実際に理解できているかを筆記式の試験で確認します。 演習課題 60% 機器操作を伴う課題への取り組みや完成状況を基に判断します。 授業への参加状況 10% なお、作業指示に従わない場合や演習妨害等の行為は減点として扱います。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容を教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出してください。復習課題等については、授業中に別途指示します。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読してください。復習課題等については、授業中に別途指示します。
キーワード/Key word	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意して下さい)。 上繁義史, 「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」, 培風館, 2016年, ISBN978-4-563-01593-0 教材: 必要に応じて、資料や課題などをLACSにて公開します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	Windows 10及びMS-Office Professional / Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC、及びACアダプタを毎回必ず持参してください。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールしてください。 再履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講してください。 http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	コンピュータの操作に慣れていない場合は、毎日少しの時間でもキーボードに触れる時間をとることが望まれます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第01回 4月 5日	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続、LACSの基本操作実習、電子メールの操作実習 必ずノートパソコンを持参すること。
第02回 4月12日	【PCとLACSの活用】 LACS紹介と操作実習、電子メール利用実習、Office365セットアップ Microsoft Wordの基礎、Microsoft Excelの基礎、Microsoft PowerPointの基礎 必ずノートパソコンを持参すること。
第03回 4月19日	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連) 情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連) 情報倫理、ネチケット、個人情報保護など
第04回 4月26日	【コンピュータとネットワークの基礎1】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第05回 5月10日	【プレゼンテーション1/2】 プレゼンテーションの構成変更、動作設定、印刷
第06回 5月17日	【表計算1/4】 Microsoft Excelの基礎、基本操作、データ・数式・関数の入力、セルの参照、表の書式設定
第07回 5月24日	【表計算2/4】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成、データの検索、複数シートを使ったデータ処理
第08回 5月31日	【表計算3/4】 関数、表示形式設定、条件付き書式、高度なグラフの作成
第09回 6月 7日	【表計算4/4】 ピボットテーブル、データベースの活用、マクロ活用
第10回 6月14日	【情報のデジタル化】 情報のデジタル化とは、文字・音声・画像のデジタル化
第11回 6月21日	【文書作成1/2】 Microsoft Wordの操作、文字・段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第12回 6月28日	【文書作成2/2】 ページの設定、印刷方法、ワードアート挿入、スタイルの設定
第13回 7月 5日	【コンピュータとネットワークの基礎2】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回 7月12日	【プレゼンテーション2/2】 別アプリのデータ利用、共通デザインの設定
第15回 7月19日	【総合演習】授業の振り返り
第16回	【定期試験】まとめ、試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/02/05		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586013750	科目番号 / Subject code	05860137
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12111_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心な社会への取組 (健康と医療の安全・安心) / Safety and Security in Medicine and Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	浜田 久之 / Hamada Hisayuki, 池田 通 / Ikeda Tooru, 林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 鶴飼 孝 / Ukai Takashi, 菊池 泰樹 / Kikuti Yasuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	浜田 久之 / Hamada Hisayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	浜田 久之 / Hamada Hisayuki, 福田 英輝 / Fukuda Hideki, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 鶴飼 孝 / Ukai Takashi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]本館21(講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	浜田久之: hhamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	浜田久之 長崎大学病院医療教育開発センター		
担当教員TEL/Tel	浜田久之 095-819-7881		
担当教員オフィスアワー / Office hours	浜田久之 月~金8:45-17:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	健康を維持するために日ごろ意識することが何か、医療とのかかわりを正しく理解するために必要な考え方を身につける。また、健康で安心した生活を送るために医療はどのようなかかわりを果たすのかを自ら考え、取り組む意識を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	健康と医療に関する日本のヘルスケアシステムを知る。 自身の健康増進のために何をすべきかを自覚する。 様々な疾病の一般的な知識を獲得する。 グローバルな視点で医療を考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	出席時に毎回、テーマに関する考察(200字~400字)を提出し、これを10点とする。100点以上を合格とする。90点以下は不合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	医療システム 健康増進 様々な疾病		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業中に必要に応じて資料を配布する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日頃より医療に関する新聞・TVニュース等に注目すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	世界における日本の医療システムについて説明し、日本の医療について考える。		
第2回	健康維持や生活習慣病予防について考える(循環器疾患を中心に)		

第3回	健康維持や生活習慣病予防について考える（消化器疾患を中心に）
第4回	現代社会における口腔管理の必要性
第5回	歯と骨の疾患の深い関係
第6回	種々の歯周疾患の病態、病因について理解し、歯周病の予防について考える。
第7回	噛むことの意義と全身の健康との関わりについて考える。
第8回	歯周疾患と全身疾患の関連性について考える。
第9回	うつ病のことを理解しよう
第10回	うつ病のことを理解しよう
第11回	認知症とは
第12回	認知症とは
第13回	海外旅行で病気にならない方法（予防接種を中心に）
第14回	海外旅行から元気に生きて帰ってくる方法（グループで事例検討）
第15回	海外旅行のリスク（3回のまとめ）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586014550	科目番号 / Subject code	05860145
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12131_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心な社会への取組 (科学と技術の安全・安心) / Risk and Safety in Science and Technology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Target students	経済		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	工学部流体エネルギー工学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。		
授業到達目標 / Course goals	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心(科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	安全・安心工学入門 (古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 安全と安心の基本的な考え方について
第2回	第2回 事故の事例と安全意識
第3回	第3回 事故原因の解析法の紹介
第4回	第4回 災害とリスクマネジメントについて
第5回	第5回 リスクマネジメントの事例紹介
第6回	第6回 安全文化について
第7回	第7回 安全安心の意識調査 安全安心に関する提案のグループ分け
第8回	第8回 安全・安心に関する法律 安全安心に関する提案の打ち合わせ1
第9回	第9回 電気に関する安全安心1 安全安心に関する提案の打ち合わせ2
第10回	第10回 電気に関する安全安心2 安全安心に関する提案の打ち合わせ3
第11回	第11回 安全安心に関する提案の発表会
第12回	第12回 電磁波に関する安全安心 安全安心に関する提案の総評
第13回	第13回 化学物質の安全・安心 その1
第14回	第14回 化学物質の安全・安心 その2
第15回	第15回 化学物質の安全・安心 その3
第16回	予備

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/02/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586028150	科目番号 / Subject code	05860281
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 15131_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心な社会への取組 (経済と生活の安全・安心) / Safety and Security in the Economy and Life		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	徐 陽 / Yang Xu, 林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	徐 陽 / Yang Xu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students	経済		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	工学部流体エネルギー工学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。		
授業到達目標 / Course goals	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心(科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	安全・安心工学入門(古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 安全と安心の基本的な考え方について
第2回	第2回 事故の事例と安全意識
第3回	第3回 事故原因の解析法の紹介
第4回	第4回 災害とリスクマネジメントについて
第5回	第5回 リスクマネジメントの事例紹介
第6回	第6回 安全文化について
第7回	第7回 安全安心の意識調査 安全安心に関する提案のグループ分け
第8回	第8回 安全・安心に関する法律 安全安心に関する提案の打ち合わせ 1
第9回	第9回 電気に関する安全安心 1 安全安心に関する提案の打ち合わせ 2
第10回	第10回 電気に関する安全安心 2 安全安心に関する提案の打ち合わせ 3
第11回	第11回 安全安心に関する提案の発表会
第12回	第12回 電磁波に関する安全安心 安全安心に関する提案の総評
第13回	第13回 化学物質の安全・安心 その1
第14回	第14回 化学物質の安全・安心 その2
第15回	第15回 化学物質の安全・安心 その3

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 6, 月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587026903	科目番号 / Subject code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会の追及 (医療現場の安全と安心) / Safety and Relief in the Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura, 新川 哲子 / Shinkawa Tetsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 吉田 浩二 / Yoshida Koji		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 201 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hashizum@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Instructor office	熱帯医学研究所2階 小児感染症学分野222研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7764		
担当教員オフィスアワー/Office hours	hashizum@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	急速なグローバル化や災害への対策が急務とされる今日の状況において、医療現場で人々の健康に 関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、総合的に理解する。		
授業到達目標/Course goals	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら 努力をして維持することが重要であることを認識できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業参加度、レポート、プレゼンテーション、試験 (担当者で異なる。授業の初めに連絡予定) で 評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	特になし		
キーワード/Key word	放射線リスク、災害医療、天然毒、熱帯感染症、気候変動		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。必要に応じて参考書を紹介する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら 努力をして維持することが重要であることを認識してほしい。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 6/11 (6)	気候変動と感染症
第2回 6/11 (7)	デング熱ってなに？
第3回 6/18 (6)	蚊と感染症
第4回 6/18 (7)	開発途上国の医療現場と感染症
第5回 6/25 (6)	医薬品開発の歴史：くすりは毒から作られた
第6回 6/25 (7)	身近な毒と、毒を克服した生物たち
第7回 7/2 (6)	くすりと食べ物の境界はどこか(病気の予防と治療)
第8回 7/2 (7)	食とくすりの安全について考える
第9回 7/9 (6)	原子力災害後の放射線リスクと危機管理
第10回 7/9 (7)	放射線被ばくを受けた住民に対する支援活動の実際
第11回 7/17 (6)	身近に迫る放射線リスクについて
第12回 7/23 (6)	救急医療の現状と課題
第13回 7/23 (7)	災害医療の現状と課題
第14回 7/30 (6)	救急医療における臓器提供と終末期医療の現状と課題
第15回 7/30 (7)	安心な災害医療・救急医療に向けて我々が取り組むべきこと

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587027302	科目番号 / Subject code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12161_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会の追及 (社会科学からみた安全・安心) / Safety and Security Viewed from the Social Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大角 道子 / Ogaku Michiko, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Target students	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	初回講義時にお伝えします。		
担当教員研究室 / Instructor office	経済学部本館大角研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	安全, 安心について, 特に, ゲーム理論と不完備契約の経済学の側面から学習する。		
授業到達目標 / Course goals	不完備契約の経済理論についての基本的な知識を習得することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	講義中に行うクイズの得点(100%)で評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	講義後に復習すること。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特段指定しない。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	高校までの数学とミクロ経済学の基礎知識があることが望ましい。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	ゲーム理論の基礎知識 (1)		

第3回	ゲーム理論の基礎知識 (2)
第4回	交渉の理論
第5回	コースの定理 (1)
第6回	コースの定理 (2)
第7回	ホールドアップ問題 (1)
第8回	ホールドアップ問題 (2)
第9回	所有権アプローチ (1)
第10回	所有権アプローチ (2)
第11回	不完備契約 企業の資金調達 (経営者と債権者) (1)
第12回	不完備契約 企業の資金調達 (経営者と債権者) (2)
第13回	不完備契約 企業の資金調達 (経営者, 株主, 債権者) (1)
第14回	不完備契約 企業の資金調達 (経営者, 株主, 債権者) (2)
第15回	授業内テスト(予定)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587028102	科目番号 / Subject code	05870281
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12181_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (公害環境問題と社会) / Environmental Issues and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 田邊 秀二 / Tanabe Shuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 201 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Target students	経済学部夜間主 1 - 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部4階 環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜16-17時 在室のときならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	安全で安心できる環境を享受するため、公害・環境問題の歴史と現状、またそれらを考察する理論を学ぶ。全学モジュール科目「安全で安心できる社会」の選択科目		
授業到達目標/Course goals	代表的な公害・環境問題の概要を説明し、企業、行政、専門家、被害者と一般市民の役割、対立点、キーワードなどを説明できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 70%、レポート 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	教科書を通読すること。LACSを毎日確認すること。		
キーワード / Key word	水俣病、カネミ油症、原発、リスク社会、受益圏と受苦圏、住民運動と市民運動		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は、戸田清『核発電の便利神話』長崎文献社 2017年。参考書は適宜紹介する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	授業外でも環境問題に関心を持ち、新聞を読むこと (週平均2時間程度)。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなる社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートについては、担当教員 (上記連絡先) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談ください。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 電話 095-819-2006 FAX 095-819-2948 電子メール support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ / Message for students	教科書を通読すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1 10月1日	イントロダクション 水俣病 公害の原点 なぜ解決が長引くのか		

2	10月15日	水俣病その2
3	10月22日	カネミ油症 長引く解決 福岡・長崎で多発
4	10月29日	カネミ油症その2
5	11月5日	じん肺・アスベスト 長崎で労災多発
6	11月12日	リニア中央新幹線のメリットとデメリット
7	11月19日	カネミ油症について下田順子さんのゲスト講義 五島出身・諫早在住の方です。
8	11月26日	福島原発事故とトモダチ作戦被曝訴訟
9	12月3日	福島原発事故と甲状腺がん
10	12月10日	10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物
11	12月17日	農業問題 とくにネオニコチノイド系
12	1月7日	遺伝子組み換え作物
13	1月15日	石木ダム計画をめぐる紛争
14	1月21日	ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊
15	1月28日	自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ
16	2月4日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587029302	科目番号 / Subject code	05870293
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12141_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (水環境の安全と安心) / Introduction to the Engineering for Safe Water Environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 冨田 彰秀 / Tada Akihide, 板山 朋聡 / Itayama Tomoaki, 藤岡 貴浩 / Fujioka Takahiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田邊 秀二 / Tanabe Shuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 冨田 彰秀 / Tada Akihide, 板山 朋聡 / Itayama Tomoaki, 藤岡 貴浩 / Fujioka Takahiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館201(講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students	経済(夜間主)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	s-tanabe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	工学研究科(総合教育研究棟7F709)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2659		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00-12:50(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	日本は地球の温帯地域にあり、四季を通じて降雨があるため水には恵まれてきた。しかし、途上国においては、安全な飲料水の確保は喫緊の問題であり、日本に限らず、先進国の水処理技術の導入が急がれている。この講義では、工学研究科の水環境技術者育成に関わる教員により、水環境に関する技術の現状、問題点を整理し、日本の持つ先進的なモニタリング技術、アセスメント、膜や生物処理を使った最先端水処理技術などを理解することで、普段気づかない水環境の安全・安心について考える。		
授業到達目標 / Course goals	水環境に関する問題について解説できる。水環境のモニタリング技術、廃棄物問題、水処理技術について説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	講義への積極的参加(40%)、レポート課題の評価(60%)の総合点で評価する。複数の教員が講義するため、それぞれの先生の評価を講義時間の割合で平均し最終成績とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	水、膜、廃棄物、水環境、分離、生物処理、シミュレーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。必要があればプリントを配付し、参考書を紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：有明海や水俣湾における水環境の現状
第2回	水環境モニタリング技術について
第3回	水道と水源池
第4回	水源を守る
第5回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(1)
第6回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(2)
第7回	化学薬品、重金属などの危険物質の現状と対策について
第8回	世界の水環境問題と膜分離技術の貢献について
第9回	<水を造る> 膜分離技術概論 - 現状と展望 -
第10回	<水を再生する> 膜分離技術概論 現状と展望 -
第11回	水環境生態系の保全と修復
第12回	環境シミュレーションの方法と数値計算の原理
第13回	コンピュータによる数値計算の手続き
第14回	環境問題へのシミュレーションの応用例
第15回	水環境の安全・安心に関する総括と評価試験
第16回	評価結果に対する指導

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 6, 月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587054501	科目番号 / Subject code	05870545
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 16021_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会の追及 (リスクマネジメントと安全文化) / Crisis Management and Safety		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiko, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館201(講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students	全学部2年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	工学部1号館3F機械工学		
担当教員TEL / Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日午前8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	過去の事故等を調査しその問題討論することにより、安全に対する意識の向上を図る。		
授業到達目標 / Course goals	安全を確保するための方法について考え、討論を行うことが出来る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	・評価方法: レポート70点, プレゼンテーション30点の合計が60点以上を合格とする。 ・評価基準: 事故をよく調査しているか。関係者の事故や災害への対応とその後の対策についてよく調べているか。リスクアセスメントや事故後の情報や対策の展開の妥当性について考えているか。プレゼンテーションはわかりやすかったか。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	安全工学、事故、リスクアセスメント、安全文化		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	安全工学資料室にある資料(安全工学に関する参考書、安全工学や事故に関するビデオ)を利用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	・1年次の「安全・安心のモジュール」を聴講していることが望ましい。 ・全回出席を原則とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	安全工学の概論(その1: リスクアセスメント)		

2	安全工学の概論（その3：グループ討議の検討）
3	調査・討論（概略、状況、原因の調査）
4	調査・討論（対応、その後の経過）
5	調査・討論（事故の分析）
6	事故と疲労
7	調査・討論（全体討論）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20180587510302	科目番号 / Subject code	05875103
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 16081_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (インフラの観点からの安全・安心) / Safety and Security Viewed from the Infrastructure		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka, 佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館201(講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students	経済学部(夜間主)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	大学教育イノベーションセンター 他		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	社会インフラの老朽化による危険性、災害による危険性など人々が安全に暮らしていくためには現在の状況および、インフラの維持管理への住民の参画の仕方、ICTの活用、今後の都市計画のあり方など考えていく必要があります。この授業では、日頃からインフラに関心をもつための基本的な知識を修得することとします。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・社会インフラの老朽化や災害の観点から、安全・安心とは何か、日常から意識をもって行動することができる。 (自ら学び、考え、行動することができる。) ・安心・安全な街づくりのための提案ができるようになる。 (自ら学び、考え、主張することができる。) ・ICT・地理情報を活用した分析ができるようになる。 (分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	各担当教員からの課題で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にLACS等に資料を掲載するため、予め読んでくること		
キーワード / Key word	災害 維持管理 地理情報 ICT 都市計画		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	随時資料を配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス(インフラと安全・安心) 若菜
第2回	安全・安心のための地理情報について
第3回	地理情報とインフラ
第4回	自然災害と安全・安心 その1【特別講師:高橋和雄】
第5回	自然災害と安全・安心 その2【特別講師:高橋和雄】
第6回	自然災害と安全・安心 その3【特別講師:高橋和雄】
第7回	情報インフラの安全・安心(暗号系)
第8回	情報インフラの安全・安心(クラウド)
第9回	情報インフラの安全・安心(社会に影響する情報基盤)
第10回	地理空間情報と都市計画(1)
第11回	地理空間情報と都市計画(2)
第12回	安全・安心のための住環境
第13回	住環境の計画と都市領域(1)
第14回	住環境の計画と都市領域(2)
第15回	総括(インフラと安全・安心)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588007050	科目番号 / Subject code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15791_001		
授業科目名 / Subject	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi@nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab@q.vodafone.ne.jp		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ヒトは、物言わぬ動物の行動や反応を通じてコミュニケーションを図り、有用な薬物の開発や危険性の予知など多様な情報を獲得してきた。動物の行動科学を基盤に、ヒトが生きていく上で必要な健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発について学び、動物行動科学の応用性と薬物の有用性、有害性について一般教養レベルで理解する。また、授業の後半では、動物の行動を通じて知り得た情報が、単なる偶然の産物なのか、それとも科学的に信頼できる意義のあるデータであるのかを、統計初心者にも分かる簡単な統計的手法を用い、科学的根拠に基づいた動物行動であるかどうかを分析、理解できることもねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	動物の行動から何がわかるか説明できるようになる。一般教養として、動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる。薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 (50%)、随時行う講義中の小テスト、レポート (30%) および授業への積極的な参加・貢献度 (20%) から総合的に判断して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回、その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした自宅学習用課題を配布し、学習の完成度を高めます。随時、提出を求め、成績評価に組み込みます。		
キーワード / Key word	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。		
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動, 動物実験とその意義
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安, ストレス
第4回	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回	動物の行動機能試験(6) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験(7) 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験(8) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験(9) 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理(1) 動物実験で使用される基本的検定法1
第12回	動物実験とデータ処理(2) 動物実験で使用される基本的検定法2
第13回	動物実験とデータ処理(3) 動物実験で使用される基本的検定法3
第14回	動物実験とデータ処理(4) メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588007150	科目番号 / Subject code	05880071
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 16041_001		
授業科目名 / Subject	ASEANのいろいろ / All About ASEAN		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館11 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6300 (代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時応談		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>本講義は、ASEAN(東南アジア諸国連合)を構成する各国社会事情について、網羅的に理解することを目的とする。</p> <p>ASEANは、わが国による経済活動にとって、枢要な位置を占める。食糧確保や防衛、周辺諸国を含めた環境保護にとっても、重要な地域である。同地域社会事情に関する知見は、一般教養であるとさえ言える。にもかかわらず、さほど知られる知見であるとも言いがたい。ASEANを構成する国名をすべてそらんじることができる人々が、何人いるだろうか。</p> <p>そこで担当者は、同地域における地理、歴史、人口、経済に着目、これらを網羅的に解説することを企図するに至った。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>本講義は、以下3点を、講義目標として提示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ASEANに関して提供した知見を、正確に獲得すること。 2. 同地域に関心を抱くこと。 3. 同地域において発生し得る社会問題を考察すること。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>本科目は、以下4点を、成績評価基準とする。カッコ内は、成績評価に占める重要度を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験(50%) : 定期試験期間中に実施する。 2. 小テスト(@10%×2回、20%) : 期中に2回実施する。 3. 予習用課題(@1%×15回、15%) : 講義当日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 4. 復習用課題(@1%×15回、15%) : 講義日翌日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	<ol style="list-style-type: none"> 1. 東南アジア諸国連合 2. 持続可能性 3. 社会貢献 4. 環境保護 5. 人口構造 		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。講義担当者が配布する資料および各機関が作成した各国事情に関する資料を用いる。一例として、国際協力銀行による資料(https://www.jbic.go.jp/ja/information/investment)を挙げる。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	特にない。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	1. 4回以上欠席した受講者は、理由の如何を問わず、定期試験を受験する権利を喪失する。 2. 本講義は、必携PCおよびスマートフォンを用いる。持参して出席すること。 3. 講義内容に関する質問を歓迎する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション:本講義目標、方法、成績評価基準について説明する。受講者がASEANについてなにを知っているか(知らないか)に関する調査も実施する。
2	世界とわが国とASEAN その1:おもに経済的側面について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。
3	世界とわが国とASEAN その2:経済的側面を除く社会事情について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。
4	タイ その1(歴史・地理・人口・経済)
5	タイ その2(企業と産業)
6	タイ その3(社会貢献と昨今の情勢)
7	マレーシア
8	Mid-term ASEAN Quiz
9	ベトナム その1(歴史・地理・人口・経済・企業)
10	ベトナム その2(食料生産と環境保護)
11	フィリピン
12	インドネシア
13	その他各国 その1(ラオス、カンボジア、ミャンマー)
14	その他各国 その2(ブルネイ・ダルサラーム、シンガポール)
15	総括とASEAN Quiz その2
16	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590001050	科目番号 / Subject code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11162_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students	経済		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	(1) 訪日外国人客に英語で対応する際の表現を学ぶことを目的とした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、スピーキング等のエクササイズによって総合的なコミュニケーションの向上をはかる。(2) 訪日外国人客が日本滞在中に体験する様々な場面でよく使われるような会話を習得する。		
授業到達目標/Course goals	訪日外国人客が日本滞在中に出くわすいろいろな場面の英会話を練習し、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験40%、小テスト、出席、授業への取り組み60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前の予習、次回小テストのための復習必須		
キーワード / Key word	訪日外国人客に対する接客の英会話		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Hospitality on the Scene (KINSEIDO)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中に指示		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明
第2回	Unit 1 (Transportation)
第3回	Unit 2 (At a Check-in Counter)
第4回	Unit 3 (Facilities and Services)
第5回	Unit4 (Giving Directions)
第6回	Unit 5 (Recommending a Trip)
第7回	Unit 6 (Dining in Japan)
第8回	Unit 7 (Dining in Japan)
第9回	Unit 8(Arranging a Tour)
第10回	Unit 9 (Staying at a Ryokan)
第11回	Unit 10 (Culture Experience in Japan)
第12回	Unit 11 (Culture Experience in Japan)
第13回	Unit 12 (Japanese Souvenirs)
第14回	Unit 13 (Dealing with Health Problems and Emergencies)
第15回	Unit 14 (Dealing with Complaints and Accidents)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/02/05		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590001051	科目番号 / Subject code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11162_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館201(講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	東南アジア研究所312		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火 17:00 - 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語コミュニケーションでよく使われる表現を通じて、リスニング、ディクテーション、スピーキング、発音、また、語彙やイディオムを総合的に学ぶ。 英語音声の発音上の特徴を理解し、実際に聞く、書く、声にすることを通じて、それを会得する。		
授業到達目標/Course goals	リスニングやスピーキング、語彙・イディオム、文法の力を伸ばす。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	毎回、授業の終わりには、ふりかえりを提出してもらう。これらが全体で20点に相当する。また、小テストを3回行う。1回20点×3回=60点である。音声の提出が10点。授業への参加、貢献度が10点である。授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 また、進捗状況に応じて、Quizの日時等は変更になるので留意されたい。 スマホを授業目的以外で使用していた場合、減点となる。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 授業概要説明		

第2回	I hope... 英語の音声：概要
第3回	look like 変化する音
第4回	as ... as つながる音
第5回	kind of 消える音
第6回	Quiz 1 How do you like ...?
第7回	never ... until~ b, vの音
第8回	It takes ... to ~ s, shの音
第9回	Shouldn't have + 過去分詞 thの音
第10回	Quiz 2 I wonder ... (I was wondering if...)
第11回	Why don't you...? (Why don't we...? Let's... Shall we...?)
第12回	as soon as ...
第13回	give a person a call (give a person a... の表現)
第14回	It said/says that ...
第15回	Catch-up & Review
第16回	Quiz 3

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590003050	科目番号 / Subject code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11262_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] CALL教室		
対象学生(クラス等) / Target students	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	東南アジア研究所 2階		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業直後、またはメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	DVD 総合教材を用い、視覚情報を介し英語による情報を理解するためのタスクを行う。		
授業到達目標 / Course goals	語彙を多く身につけると共に基本的な英語の構造が理解できるようになること、また、視覚情報を助けにしながら英語のナレーションの大意が把握できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	期末試験 50% 中間試験30% 授業への積極的参加状況(課題なども含む)20% 以上により総合的に評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	森田 彰(他)著 BBC World Profile on DVD (南雲堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	ある一定の回数以上欠席した場合は、期末試験の受験資格がなくなります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Unit 1 Laughter		

第2回	Unit 2 Hats
第3回	Unit 3 Sphinx ' s Nose
第4回	Unit 4 Terracotta Warriors
第5回	Unit 5 Silver and Platinum
第6回	第1回～第5回までのまとめ（試験を含む）
第7回	Unit 6 Athens
第8回	Unit 7 Skydiving
第9回	Unit 8 Food and Society
第10回	Unit 9 Shinjuku Station
第11回	Unit 10 Bali ' s Temples
第12回	Unit 11 Car Recycling
第13回	Unit 12 Hi-Tech Farming
第14回	Unit 13 Honolulu
第15回	Unit 14 Life on Volcanoes
第16回	授業の総括（試験を含む）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/02/05		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590003051	科目番号 / Subject code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11262_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] CALL教室		
対象学生(クラス等) / Target students	経済学部: 夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業直後またはEメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	DVD 総合教材を用い、視覚情報を介し英語による情報を理解するためのタスクを行う。		
授業到達目標 / Course goals	語彙を多く身につけると共に基本的な英語の構造が理解できるようになること、また、視覚情報を助けにしながら英語のナレーションの大意が把握できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	期末試験 50% 中間試験30% 授業への積極的参加状況(課題なども含む)20% 以上により総合的に評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	染矢正一・フレッド・フェラシー(著)『DVDで学ぶ世界遺産(World Heritage on DVD)』南雲堂		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	ある一定の回数以上欠席した場合は、期末試験の受験資格がなくなります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Unit 1 Statue of Liberty, USA DVDの視聴 CDによるリスニング 空所補充1~4		

第2回	Unit 1 英文の内容読解 6 Unit 2 Forbidden City, China リスニングの確認
第3回	Unit 2 1~6 Unit 3 Bath, England リスニングの確認
第4回	Unit 3 1~6 Unit 4 Canadian Rockies リスニングの確認
第5回	Unit 4 1~6 Unit 5 The Pyramids リスニングの確認
第6回	Unit 1~4までのまとめ(試験を含む)
第7回	Unit 5 1~6 Unit 6 Ayutthaya, Thailand リスニングの確認
第8回	Unit 6 1~6 Unit 7 Edinburgh Castle, Scotland リスニングの確認
第9回	Unit 7 1~6 Unit 8 Machu Picchu, Peru リスニングの確認
第10回	Unit 8 1~6 Unit 9 Taj Mahal, India リスニングの確認
第11回	Unit 9 1~6 Unit 10 Te Wahipounamu, New Zealand リスニングの確認
第12回	Unit 10 1~6 Unit 11 Shirakawa-go, Japan リスニングの確認
第13回	Unit 11 1~6 Unit 12 Cappadocia, Turkey リスニングの確認
第14回	Unit 12 1~6 Unit 13 Blue Mountains, Australia リスニングの確認
第15回	Unit 13 1~6
第16回	授業全体のまとめ(試験を含む)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590005050	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 本館 11 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masazumi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	東南アジア研究所312		
担当教員TEL / Tel	820-6376		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木 17:00 - 18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	異文化コミュニケーションに関する教科書を用いて、読解にとどまらず、語彙やイディオム、文法について学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	異文化コミュニケーションにまつわる文章を通じての読解力・表現力の習得。および、基本的英文法の習得		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	毎回、授業後には、ふりかえりを行う。これらは全体で40点に相当する。 また、小テストを3回行う(最後の小テストはテスト期間になる予定)。1回20点×3回=60点である。授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	英語リスニング 英語リーディング 基本英文法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Speaking of Intercultural Communication, Peter Vincent, Shohakusha. 文法事項について言及するので、高校時に使用した参考書を必要に応じて、持参してください。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること(携帯電話やスマートフォンの辞書の使用は認められない)。 内容は理解度に応じて、変更する場合がある。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction 授業概要
第2回	Unit 1 Communication
第3回	Unit 2 Culture
第4回	Unit 3 Nonverbal Communication
第5回	Unit 4 Communicating Clearly
第6回	Catch-up
第7回	小テスト1 Unit 5 Culture and Values
第8回	Unit 6 Culture and Perception
第9回	Unit 7 Diversity
第10回	Unit 8 Stereotypes
第11回	Catch-up
第12回	小テスト2 Unit 9 Culture Shock
第13回	Unit 10 Culture and Change
第14回	Unit 11 Talking about Japan
第15回	Unit 12 Becoming a Global Person
第16回	小テスト3

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590005051	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(21:10~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。 習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。 習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。 各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。 英文の速読、及び直読直解ができる。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表)30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード / Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	(1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材)		

受講要件（履修条件）/Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか）
第2回	既習項目（音法）の再確認
第3回	At an Airport (1)
第4回	At an Airport (2)、VTR
第5回	Taking a Taxi(1)
第6回	Taking a Taxi(2)
第7回	Taking Public Transportation(1)
第8回	Taking Public Transportation(2)、VTR
第9回	At a Hotel(1)
第10回	At a Hotel(2)、VTR
第11回	Making a Phone Call(1)
第12回	Making a Phone Call(2)、VTR
第13回	At a Restaurant(1)
第14回	At a Restaurant(2)
第15回	At a Restaurant(3)、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009050	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	新井 恭子 / Kyoko Arai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	新井 恭子 / Kyoko Arai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	新井 恭子 / Kyoko Arai		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arai-k@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了直後、またはメールで。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高校までの受験英語をビジネスのための実践英語に変換し、経済・経営に関する英文を読解・応用できるようになることを目標としている。教科書は日本市場に参入した外資系企業の失敗と成功についてのエッセイと多くのケースワークからなっている。それに沿って、アクティブに英語学習を行いながら、ビジネス英語の表現と単語を学び、TOEICテストの準備も行う。また、各企業の英語のホームページやビジネスニュース、ジャーナルなどを積極的に読み、情報を収集し、英語のプレゼンテーションにまとめて発表を行うことで、実践的な英語力も養成する。		
授業到達目標/Course goals	授業内だけでなく、教科書に沿って予習、課題、ミニテスト準備などをやりながら、自宅・通学途中でも継続的に英語学習を行うことで総合的な英語運用能力の向上を目指す。 具体的な目標は以下のとおりである。 毎回の速読のミニテストで、最終的にはスピードが2倍になること。 単語・熟語テストは毎回8割以上正解する。 ビジネス英語の表現・単語・熟語を記憶し、速読の力を身につけ、TOEICテストのスコアは500点以上を目指す。 英語の情報を収集し、口頭発表を組み立て、パソコンの発表用ソフトウェアを使って、英語で発表ができるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業参加状況 (授業態度・発表) 30%、単語・熟語テスト10%、発表2回の成績30%、定期テスト成績30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 = 次回学習する教科書の文章の知らない単語は調べておく。 単語・熟語テスト = 毎回のテストのために単語・熟語を暗記する。(記憶する単語・熟語のプリントを渡す。) 課題 = グループワークのための発表原稿と発表資料作成は自宅で作成する。 速読練習 = ホームページで英語の情報を読んだり、速読練習用のスマホのアプリなどで練習する。 リスニング練習 = DVDを英語で見たり、YouTubeで英語の番組やニュースを見て、聞き取りの練習をする。		
キーワード / Key word	Reading, Speaking, Business English, Vocabulary		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『企業研究で学ぶ実用リーディング Doing Business in Japan』 新井恭子他著 音羽書房鶴見書店2011		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が「平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げ」となり得る社会的障壁の除去及び「合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	なるべく英語のWebsiteのニュースや記事を読んで日頃から英語で読むことに慣れてください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1. オリエンテーション、授業の進行方法・評価のしかたなどの説明、自己紹介、グループ作り。
第2回	2. Case Study 1 Coca Cola (Japan) Co., Ltd.
第3回	3. Case Study 2 Apple Inc.
第4回	4. 英語での映画鑑賞「Battle of Silicon Valley」 (80年代のApple社とMicrosoft社の攻防を描いたアメリカのドラマ)
第5回	5. Case Study 3 Warner Music Japan
第6回	6. Case Study 4 H&M Hennes & Mauritz AB
第7回	7. Group Work 英語による企業説明プレゼンテーション準備
第8回	8. Group Work 英語による企業説明プレゼンテーション発表
第9回	9. Case Study 5 Air Canada
第10回	10. Case Study 6 Universal Studios Japan
第11回	11. Case Study 7 Proctor & Gamble Japan
第12回	12. Case Study 8 McDonald's Holdings Company Japan
第13回	13. Group Work 英語による企業研究プレゼンテーション準備
第14回	14. Group Work 英語による企業研究プレゼンテーション発表
第15回	15. Group Work 英語による企業研究プレゼンテーション発表

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 7
開講期間 / Class period	2018/09/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011050	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Target students	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後 (21:10 ~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	本講座は、単なるテキストに忠実な英文講読の演習のみを目的とするものではなく、テキストの英文を通して文化的差異に関する情報を収集し、文化にアプローチを試みながら、異文化理解の促進を第一義的な目的に据えるものである。市民レベルでの生活習慣、生活文化等の文化的差異を正しく認識し、日本人と英語圏の人々の思考過程・価値観・行動様式について、実相への理解を追究すると同時に、比較文化的視座から具体的例証に基づいてその論理の相違を実証的に解明、考察していくことが本講座の究極のテーマとなる。		
授業到達目標/Course goals	英文の速読、及び直読直解ができる。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持って異文化圏の人々に接することができる。 日本の伝統と文化を尊重する態度を堅持することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表) 30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習、及び異文化理解につとめる姿勢を持って、積極的に異文化に関する情報を収集しておくことを求めたい。		
キーワード / Key word	速読、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Cultural Differences (ハンドアウト教材)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。上述の通り、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	言語と文化は表裏一体と言われますが、言語を習得するためには、その言語を使用する人々の日常を反映する文化やコミュニケーション事情についても同時に学ぶことが大切です。本講座の受講を機に、英語国民とのコミュニケーション・ギャップや文化摩擦の根底にあるものを認識し、日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを模索していただきたいと思います。諸国の違いは多々あれど、違いを知ることによって共存への道を探ることが今後一層求められていく時代になるものと思われます。常に海外の事情にも注視する姿勢を保ち続けてください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)
第2回	日米文化比較 ~ The High Standards of Japanese High Schools () ~
第3回	日米文化比較 ~ The High Standards of Japanese High Schools () ~
第4回	日米文化比較 ~ The High Standards of Japanese High Schools () ~
第5回	日米文化比較 ~ The High Standards of Japanese High Schools () ~
第6回	日米文化比較 ~ Differences in Gestures and Facial Expressions () ~
第7回	日米文化比較 ~ Differences in Gestures and Facial Expressions () ~
第8回	日米文化比較 ~ Differences in Body Language () ~
第9回	日米文化比較 ~ Differences in Body Language () ~
第10回	日米文化比較 ~ Differences in Body Language () ~
第11回	日米文化比較 ~ Hamburger and Curry () ~
第12回	日米文化比較 ~ Hamburger and Curry () ~
第13回	日米文化比較 ~ Where Do Stereotypes Come from? () ~
第14回	日米文化比較 ~ Where Do Stereotypes Come from? () ~
第15回	日米文化比較 ~ Mayumi's Ideal Man () ~
第15回	日米文化比較 ~ Mayumi's Ideal Man () ~、まとめ
第16回	定期試験
第16回	上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や提示したアジェンダに対する発表活動により、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 7
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013050	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Target students	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(21:10~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	本講座は、単なるテキストに忠実な英文講読の演習のみを目的とするものではなく、テキストの英文を通して文化的差異に関する情報を収集し、文化にアプローチを試みながら、異文化理解の促進を第一義的な目的に据えるものである。市民レベルでの生活習慣、生活文化等の文化的差異を正しく認識し、日本人と英語圏の人々の思考過程・価値観・行動様式について、実相への理解を追究すると同時に、比較文化的視座から具体的例証に基づいてその論理の相違を実証的に解明、考察していくことが本講座の究極のテーマとなる。		
授業到達目標/Course goals	英文の速読、及び直読直解ができる。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持って異文化圏の人々に接することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表)30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習、及び異文化理解につとめる姿勢を持って、積極的に異文化に関する情報を収集しておくことを求めたい。		
キーワード / Key word	速読、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Cultural Differences (ハンドアウト教材)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。上述の通り、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>言語と文化は表裏一体と言われますが、言語を習得するためには、その言語を使用する人々の日常を反映する文化やコミュニケーション事情についても同時に学ぶことが大切です。本講座の受講を機に、英語国民とのコミュニケーション・ギャップや文化摩擦の根底にあるものを認識し、日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを模索していただきたいと思います。諸国の違いは多々あれど、違いを知ることによって共存への道を探ることが今後一層求められていく時代になるものと思われます。常に海外の事情にも注視する姿勢を保ち続けてください。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)</p>
<p>第2回</p>	<p>日米文化比較~Mayumi's Ideal Man()~</p>
<p>第3回</p>	<p>日米文化比較~Mayumi's Ideal Man()~</p>
<p>第4回</p>	<p>日米文化比較~Dinner with a Japanese Family()~</p>
<p>第5回</p>	<p>日米文化比較~Dinner with a Japanese Family()~</p>
<p>第6回</p>	<p>日米文化比較~Dinner with a Japanese Family()~</p>
<p>第7回</p>	<p>日米文化比較~Dinner with a Japanese Family()~</p>
<p>第8回</p>	<p>日米文化比較~Gardens without Flowers()~</p>
<p>第9回</p>	<p>日米文化比較~Gardens without Flowers()~</p>
<p>第10回</p>	<p>日米文化比較~Gardens without Flowers()~</p>
<p>第11回</p>	<p>日米文化比較~Gardens without Flowers()~</p>
<p>第12回</p>	<p>日米文化比較~ Hiroshi ' s Lesson () ~</p>
<p>第13回</p>	<p>日米文化比較~ Hiroshi ' s Lesson () ~</p>
<p>第14回</p>	<p>日米文化比較~A young Wife from America()~</p>
<p>第15回</p>	<p>日米文化比較~A young Wife from America()~、まとめ</p>
<p>第16回</p>	<p>定期試験 上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や提示したアジェンダに対する発表活動により、上記の進度設定が変動する場合もある。</p>